

# HDビデオディスクレコーダー

## ***VDRH-700/700EX***

---

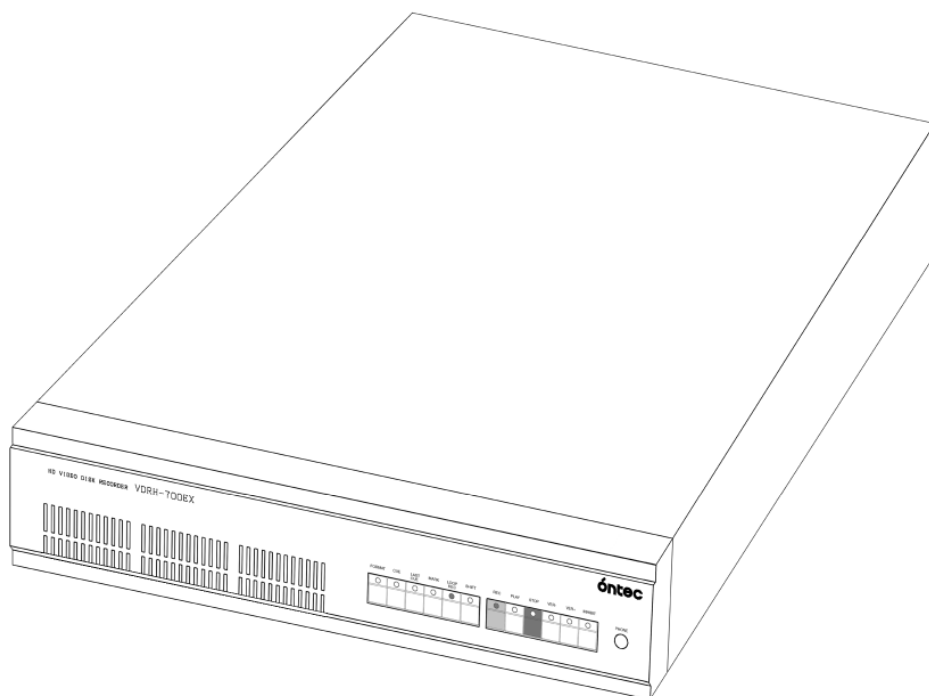
取扱説明書 (2010 年 2 月)

お買い上げいただきありがとうございます。



本製を、安全にご使用いただく為に、本文中の注意事項をお守りください。  
場合によっては、火災・人身事故につながる恐れがあります。  
この取扱説明書には、事前に重大な事故を防ぐ為の注意事項、本製品の取り扱い  
方法に関して記載されております。  
使用されるにあたり、ご一読戴き安心してお使いいただきますようお願いいたします。

また、いつでもご覧いただけるよう、大切に保管しておいてください。



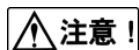
株式会社 オンテック

## 安全上のご注意

安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読み下さい。  
また、お読みになったあと、いつでも見られるところに必ず保管して下さい。



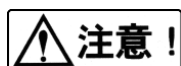
この表示の欄は、「死亡又は重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。



この表示の欄は、「傷害を負う可能性又は物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。



- 発煙、異常過熱、異臭、異音が発生した場合、すぐに使用を中断いただき、電源プラグをお抜きください。  
火災、感電につながる恐れがあります。
- 内部に水が入った時や、外装ケースが破損した場合は、すぐに使用を中断していただき、電源プラグをお抜きください。  
火災、感電につながる恐れがあります。
- 水をかけたりぬらしたりしないでください。  
内部に水が入ると火災、感電、故障につながります。  
水が入ったときは近くのサービス会社にご相談ください。
- 分解や改造をしないでください。  
火災、感電、故障につながります。



- 高温になる所に放置しないでください。  
特に真夏の車内、車のトランク内は、想像以上に高温となります。本機を放置しないでください。故障の原因となります。  
そのまま使用しますと、ショートや絶縁不良で発熱し、火災、感電等の恐れがあります。
- 結露に注意  
寒い所から急に暖かい所へ移動したとき、冷房の効いた部屋や車内から急に温度の高い所や湿度の高い所へ移動したときなどに結露が起こります。  
そのまま使用しますと、ショートや絶縁不良で発熱し、火災、感電等の恐れがあります。
- 設置時や移動時に指をはさまないようご注意ください。

## 使用上のご注意

### ■ 低温時の暖機運転について

ハードディスクドライブを保護するため、低温時には、電源オン直後の記録操作は避けるようにお願いします。目安として、外気温10℃の場合、20分程度の暖機運転（ウォームアップ）をお願いします。

### ■ お手入れについて

フロントフィルターの定期的な清掃をお願いします。ハードディスクドライブや内部基盤に著しくほこりなどが入り込んだ場合、本体の故障につながります。また吸気性能が悪くなることにより、内部の放熱効果が低下します。

### 【免責事項に関して】

■記録した映像の著作権に関しては、著作権法に基づいた管理をお願いいたします。

弊社はお客様が記録・再生された映像に対する、如何なる著作権上の責に関しても責を負いかねます。

■火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意又は過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いかねます。

■本製品の使用又は使用不能から生ずる付随的な損害（記憶内容の変化、消失、録画、録音などの機会を逃した為に生じた損害、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いかねます。

■接続機器（カメラやパソコンなど）との組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いかねます。

～目次～

1. はじめに.....	5
2. 各部の名称と働き.....	6
1 ) フロントパネル.....	6
(1) 操作ボタン .....	6
(2) PHONE ジャック .....	9
(3) 吸気口.....	9
2 ) リヤパネル.....	10
(1) AC IN .....	10
(2) POWER スイッチ .....	10
(3) HD-SDI 系端子.....	10
(4) Monitor 出力端子 .....	10
(5) 同期系端子 .....	10
(6) タイムコード系端子(LTC) .....	11
(7) 422 端子.....	11
(8) イーサネット.....	11
(9) 排気口.....	11
(10) 吸気口.....	11
3. RAID・ハードディスクについて .....	12
1 ) フロントパネル内部.....	12
2 ) ハードディスクの定期交換について .....	14
4. シーンについて / コンプレスについて.....	15
1 ) シーンについて.....	15
2 ) コンプレスについて.....	15
5. その他の操作 .....	16
6. システム事例 .....	16
1 ) シーンチェンジャーを使用したスポーツスロー再生システム.....	16
2 ) イベントハイライト送出システム.....	17
7. TC CHASE 機能について .....	18
1 ) 概要 .....	18
2 ) GRADEと動作 MODE による機能の違い.....	18
3 ) その他の注意事項 .....	18
8. 定格 .....	19
9. 索引 .....	22

## 1. はじめに

この度は弊社製品、VDRH-700 シリーズをお買い上げ頂き、誠にありがとうございました。

このマニュアルに記載されている事項を良くお読みになり、VDRH-700 シリーズを永くご愛顧下さい。

またこの冊子は、いつでもご参照いただけるよう、大切に保管頂けますようお願いいたします。

### ■ 特徴

#### □フルスペックHDTV対応

V I D E O : 1920×1080/59.94i

A U D I O : 8 c h

HD放送規格に対応した映像・音声の記録と再生が可能です。

#### □高画質／高音質 記録

J P E G 2 0 0 0 による高画質記録を実現。フレームごとに独立したデータで記録。オーディオは基本構成で S D I エンベデッド8チャンネルに対応します。

4 8 k H z / 9 6 k H z 2 4 ビットサンプリングに対応しています。

VDRH-700 は6時間、VDRH-700EX は18時間のHD-S D I 素材の録画が本装置1台で可能です。

#### □低消費電力・小型軽量

VDRH-700 : 90 W                      VDRH-700EX : 100 W

2 Uラックタイプ (W 430×D 425×H 88 [mm])

#### □R A I D 5 構成

3台のハードディスクをR A I D 5 構成で使用し高信頼性を特徴とします。

何らかの原因でハードディスク1台が故障しても残りのハードディスクでデータを補間し、これを復元します。

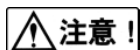
#### □二重化電源 (VDRH-700EX)

電源回路には信頼性が高い部品を採用。さらに一つの電源が故障しても、もう一方の電源が瞬断することなくバックアップを行い通常の機能を継続します。

#### □ネットワーク機能・監視機能

Ethernet に接続することにより、別の場所にあるコンピュータから制御や監視をすることが可能です。

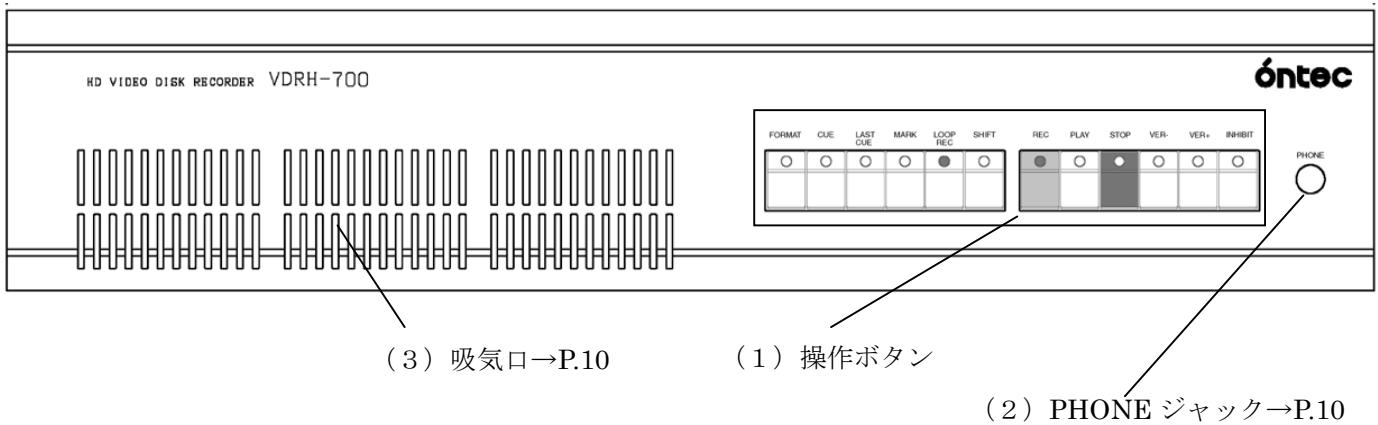
通常のパネルで行う操作もネットワークから行うことができる為、遠隔地からの録画を開始・停止やメンテナンス情報の入手なども行うことが出来ます。



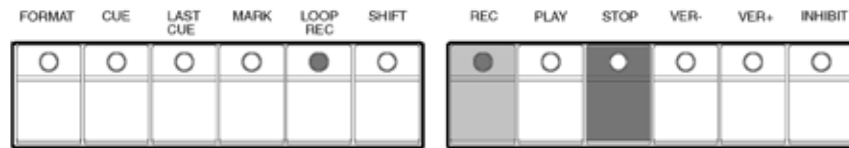
ネットワーク利用した制御や監視機能のために接続される Ethernet には本装置もしくはシステムと関係の無い機器、ネットワーク機器およびインターネット等の環境を接続しないようお願いします。Ethernet への接続は、誤動作を回避するためにも、本装置とコントローラ (パソコン等) 間は、1 対 1 で接続することを推奨いたします。

## 2. 各部の名称と働き

### 1 ) フロントパネル



#### (1) 操作ボタン



※右から順に

**INHIBIT** (操作バリエーション: +SHIFT / 長押し)

#### (1) +SHIFT : INHIBIT⇔INHIBIT 解除

SHIFT+INHIBIT でパネルの操作鈕 (INHIBIT 以外) が利かなくなり INHIBIT 状態 (LED 点灯) になります。再度、SHIFT+INHIBIT で INHIBIT 状態 (LED 消灯) が解除されます。

#### (2) 長押し : REC INHIBIT⇔REC INHIBIT 解除

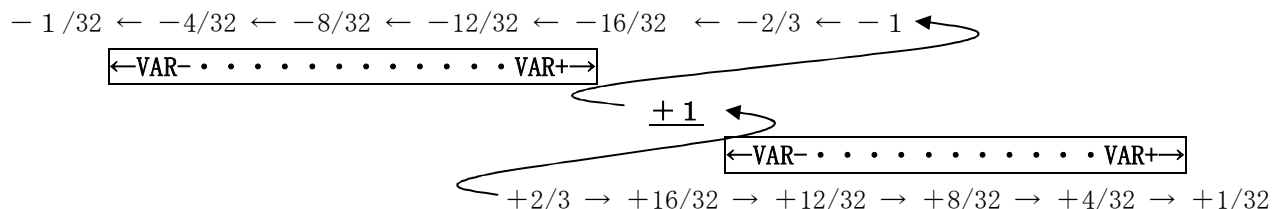
INHIBIT を長押しすると、REC INHIBIT がかかり、録画開始が出来なくなります (LED 点滅)。再度、長押しすると、REC INHIBIT が解除されます (LED 消灯)。

**VAR+ / VAR-** (操作バリエーション: 通常押下 / +SHIFT)

#### (1) 通常押下 : Variable 再生(再生時)・フレーム送り/戻し(STILL 時)

・シーン送り/戻し(停止時)・項目の送り/戻し(MENU 操作時)

再生中はこの操作をする度に、



と、再生速度が変化します。

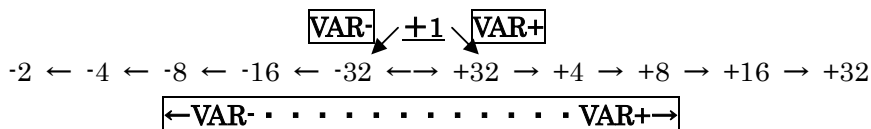
STILL 中は、フレーム単位で、コマ送り/コマ戻しをします。

停止時は、再生するシーンを選択するために使用し、シーン No. を順送り/順戻しします。

メニュー設定中は、カーソルの送り/戻しに使用します。

(2) +SHIFT : FF/REW (再生時)

再生中にこの操作をするたびに、



と、再生速度が変化します。

**□STOP** (操作バリエーション： 通常押下 / 長押し / +SHIFT)

(1) 通常押下 : STILL (再生時) ・ STOP (STILL 時)

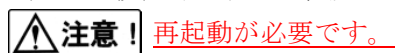
再生が一時停止します。(STILL 状態)

もう一度押すと、STOP 状態 (EE 出力もしくはブラック出力) になります。

※STOP 時の状態が EE 出力かブラック出力かは、MENU により設定します。

(2) 長押し : 設定初期化

停止中に 10 秒長押しすると、設定が初期化されます。(工場出荷状態)



(3) +SHIFT : REC STOP (REC 時)

収録が停止します。REC 停止処理に数秒掛かります。

**□PLAY** (操作バリエーション： 通常押下 / 長押し / +SHIFT )

(1) 通常押下 : 再生 (停止時 ・ STILL 時) ・ 数値を減らす (一部メニューにて)

再生が始まります。

数値の増減の出来るメニューでは、数値を 1 つ減らします。

(2) 長押し : TC チェイス再生 (停止時 ・ STILL 時 ・ 再生時) ※別売オプションの搭載とメニュー設定が必要です。

TC チェイスオプションを搭載している 700 シリーズでは、TC チェイス再生モードに入ります。

(3) +SHIFT : 強制リブート (再生時)

再生側で送出映像に異常があった場合、デコーダーのリセットをかけます。

送出映像が 1 ～ 2 秒乱れます。

## □REC (操作バリエーション: 通常押下 / +SHIFT)

### (1)通常押下: INPUT CHECK・数値を増やす(一部メニューにて)

Monitor Out や SDI Out2 に、EE を出力します。

SDI Out2 へは、メニュー設定により、出力をしないようにできます。

なお、「USER MENU1→SYSTEM1→Monitor Output」メニューを“BLACK BACK”に設定している場合、EE は出力されません。)

数値の増減の出来るメニューでは、数値を1つ増やします。

### (2)+SHIFT: 収録

通常記録が始まります。

## □LOOP REC

### (1)+SHIFT: Loop 収録

LOOP 記録が始まります。

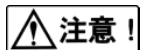
## □MARK (操作バリエーション: 通常押下 / +SHIFT)

### (1)通常押下: Cue Mark

再生中の映像のタイムコードのマークをうちます。CUE 番号が積みあがります。CUE 番号は、10 個まで記憶できます。

### (2)+SHIFT: Mark 点全消去

記憶されたマーク位置を全消去します。



**注意!**

一度押すだけで、全て削除されます。長押しではありません。

## □LAST CUE (操作バリエーション: 通常押下 / +SHIFT)

### (1)通常押下: Goto Last Cue Point・オーディオメーター表示(INHIBIT 状態メニュー非表示時)

最後のマーク位置にジャンプして CUE アップし、静止画を表示します。

メニューから抜けた状態では、Monitor(Super) Out にオーディオメーターを表示します。

### (2)+SHIFT: CUE 番号選択

CUE キーを押したときに Goto する、Cue 番号を選択します。押すたびに、Cue 番号が上がります。



## □CUE

### (1)通常押下 : Goto Cue Point

選択した CUE 番号 (マーク位置) にジャンプしてCUEアップし、静止画を表示します。

## □FORMAT (操作バリエーション: 通常押下 / 長押し / +SHIFT 長押し)

### (1)通常押下 : エラーメッセージのクリア

エラーメッセージが表示されている時は、FORMAT キーが点灯します。

エラーメッセージは、SDI Out2 か Monitor Out で確認できます。



**注意!** 長押しするとシーンが消去されます。長押ししないで下さい。

### (2)長押し : ラストシーン削除

FORMAT ボタンを約 5 秒間長押しすると、ラストシーンを完全消去します。(記録残量が増えます)

### (3)+SHIFT 長押し : Disk Format

SHIFT+FORMAT を約 5 秒間長押しすると、DISK の FORMAT を行ないます。(記録映像は、すべて消去されます。)

## (2)PHONE ジャック

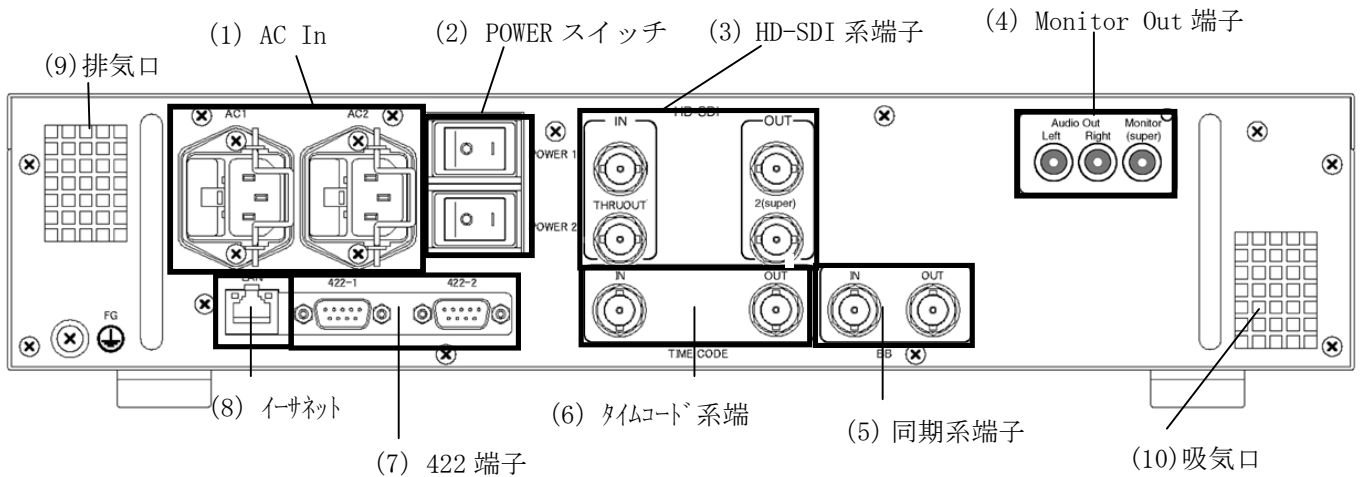
STEREO MINI ジャックのヘッドホン端子です。停止時は、入力音声が出力されます。

初期状態では、1/2ch の音声が出力されており、「USER MENU1→AUDIO→HEADPHONE CH」メニューで出力チャンネルを変更できます。

## (3)吸気口

冷却用の吸気口です。塞がないようにしてください。

## 2) リヤパネル



### (1) AC IN

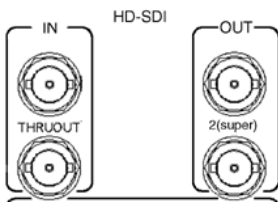
付属の電源コードを使ってコンセントにつなぎます。(VDRH-700 は 1 系統、VDRH-700EX は 2 系統)

### (2) POWER スイッチ

I 側を倒すと電源が入り、O 側に倒すと電源が切れます。

(VDRH-700 は 1 系統、VDRH-700EX は 2 系統)

### (3) HD-SDI 系端子



IN

THRUOUT (スルーアウト)

Out

Out2 (Super)

HD-SDI 映像入力端子です。

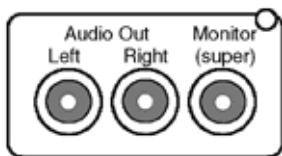
HD-SDI 映像入力のアクティブスルーアウト端子です。

HD-SDI 映像出力 (プログラムアウト) 端子です。

HD-SDI 映像出力 (スーパーアウト) 端子です。

メニューで、スーパーの内容を変更できます。

### (4) Monitor 出力端子



Monitor Out (super)

スーパー付きのコンポジット映像出力端子です。  
メニュー操作をする場合は、この出力を使用します。

Audio Out Left

Lch (1. 3. 5. 7ch) オーディオ出力端子です。※1

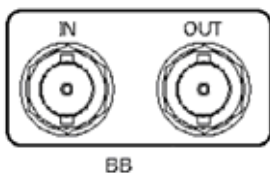
Audio Out Right

Rch (2. 4. 6. 8ch) オーディオ出力端子です。※1

※1: 出力 Ch の設定は、PHONE ジャックの出力設定に従います。

「USER MENU1→AUDIO→HEADPHONE CH」メニューで出力 Ch を変更できます。

### (5) 同期系端子



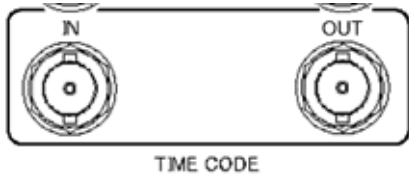
BB In 端子

リファレンス信号として、SD ブラックバースト信号を入力します。

BB Out 端子

BB In 端子のループスルーアウト端子です。  
(しない場合は、75Ω 終端をして下さい。)

(6) タイムコード系端子(LTC)



TIME CODE In

外部タイムコードを入力します。

TIME CODE Out

再生タイムコードを出力します。

「USER MENU2→TIME CODE→SELECTION ON EE」メニュー設定により、停止時に入力(収録)TCを出力するようになります。

(7) 422 端子



422-1 端子

RS-422 シリアルリモート端子 1 です。

Rec Unit を制御します。

422-2 端子

RS-422 シリアルリモート端子 2 です。

Play Unit を制御します。

(8) イーサネット

100BASE-T /1000BASE-T コネクタです。

(9) 排気口

冷却用の排気口です。ふさがないようにして下さい。

(10) 吸気口

冷却用の吸気口です。ふさがないようにして下さい。(VDRH-700<sup>1</sup>)。

\*VDRH-700EX は排気口になります。

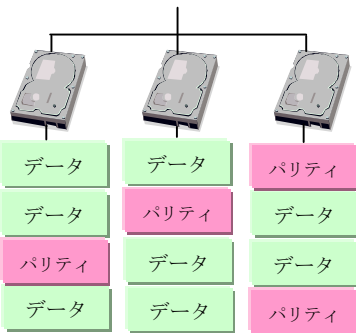
### 3. RAID・ハードディスクについて

VDRH-700 シリーズは、3 台の同容量のハードディスクでRAID5を構成しています。

その為、3 台のハードディスクの内、いずれか一台に不具合が発生した場合※でも、録画や再生を継続することが出来ます。

※この場合、HDD を交換することで RAID を復旧する、“リビルド(再構築)”という機能を持っています。ただし、**リビルド中に追っかけ再生を行なうと、データの読み出しが間に合わずに再生映像が一時停止する場合がありますのでご注意ください。**※二台以上の HDD に故障が発生した場合、収録されている素材は復旧できません。

#### RAID 5 の概要



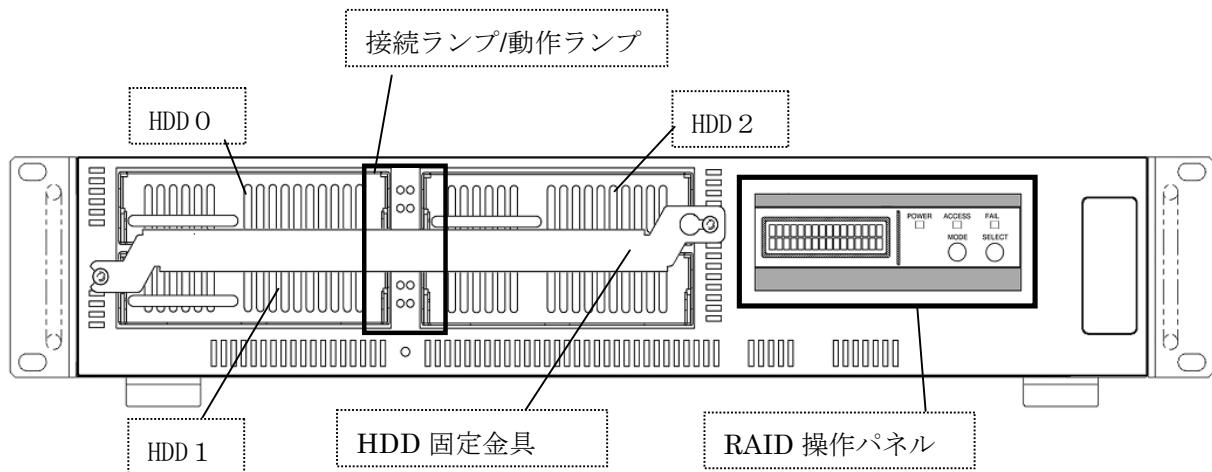
複数のハードディスクを使用して、誤り訂正符号(パリティ)データと共に、分散させて記録する方式。

RAID5を組むには、最低3台のHDDが必要となり、内一台分の容量をパリティデータに使用する。

この方式では、一台HDDが壊れてそのディスクに記録されていたデータを読み出せなくなったとしても、残りのデータとパリティデータから、破損したHDDに保存されていたデータを完全に生成することが出来る。

ただし、回復可能なのは1台のディスクが故障したときまでであり、同時に2台以上が壊れると回復は不可能になる。

#### 1) フロントパネル内部



フロントパネルを外すときは、フロントパネル側面のネジ左右各2つずつを外してください。

(ラックマウント金具が取り付けられている場合は外して下さい。)

**注意！** フロントパネルからは、内部へ伸びるケーブル束が接続されています。切ったり折ったりしないように十分ご注意ください。)

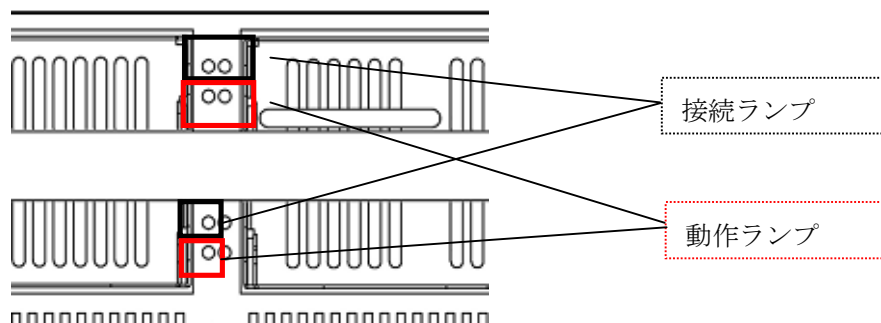
### (1)ハードディスク

先述の通り、VDRH-700 シリーズには、3 台の HDD が搭載されています。

HDD 固定金具を外し、取手を持ち、前に引き出せば、HDDを取り外すことができます。(不具合発生時以外は、取り外さないで下さい。収録されているデータが破壊されるおそれがあります。)

### (2)接続ランプ・動作ランプ

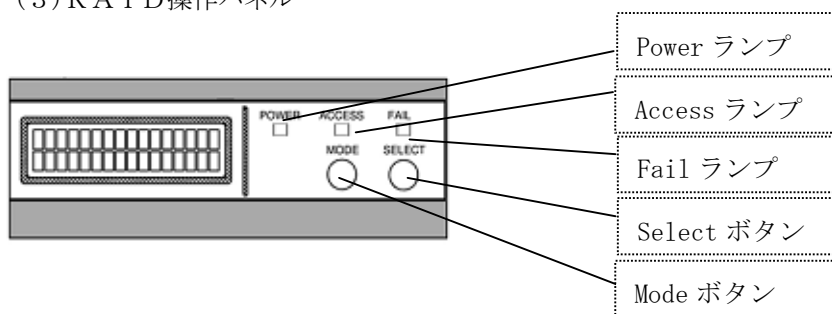
フロント内部の各ディスク横に接続ランプと動作ランプがあります。



HDDの接続が確認されない場合、接続ランプが点灯しません。(正常時は、青色が点灯。)

HDDの動作に異常があった場合、動作ランプが橙色に点灯します。(正常時は、動作に合わせて緑色が点滅)

### (3)RAID操作パネル



Power ランプ：RAID 基盤に、正常に電源が供給されている場合に、青色に点灯します。

Access ランプ：HDD の動作に合わせて緑色が点滅します。

Fail ランプ：HDD に異常がある場合に、橙色に点灯します。

Select ボタン：お客様では使用しません。

Mode ボタン：お客様での使用用途は以下の 2 通りです。これ以外の操作は行わないでください。

① RAID Initialize：このボタンを押したまま、VDRH 本体の電源を入れると、RAID 基盤をインシャライズします。HDD エラーをクリアする場合に、インシャライズをかけます。

② RAID・HDD エラー発生の際に「ピー」という継続音が警告のために鳴ります。その音を一時的に止める時に使用します。エラー自体のクリアにはなりません。

※この操作を必要とするエラーの詳細については、別紙「エラーコード表・対応表」をご覧ください。

**注意！RAID の設定は、決して変更しないで下さい。収録が出来なくなったり、収録されているデータが破壊されたりするおそれがあります。**

## 2 ) ハードディスクの定期交換について

一定期間でのHDDの交換をお勧めします。

通電時間、放置期間、使用環境によって異なりますが、交換時期の目安は、およそ3年です。

その場合、記録されている素材は、全て使用できなくなります。記録されている素材が、必要なくなったタイミングで実施をご検討下さい。

交換用HDDについては、弊社で検査を実施した正規品をご購入頂きますようお願い致します。

交換のご希望の場合やご不明な点のご質問は、弊社サポートまで御連絡下さい。

## 4. シーンについて / コンプレスについて

### 1) シーンについて

VDRH では、収録から収録停止まで※を“シーン”と呼び管理します。(※アペンド REC をした場合は、この限りではありません。)

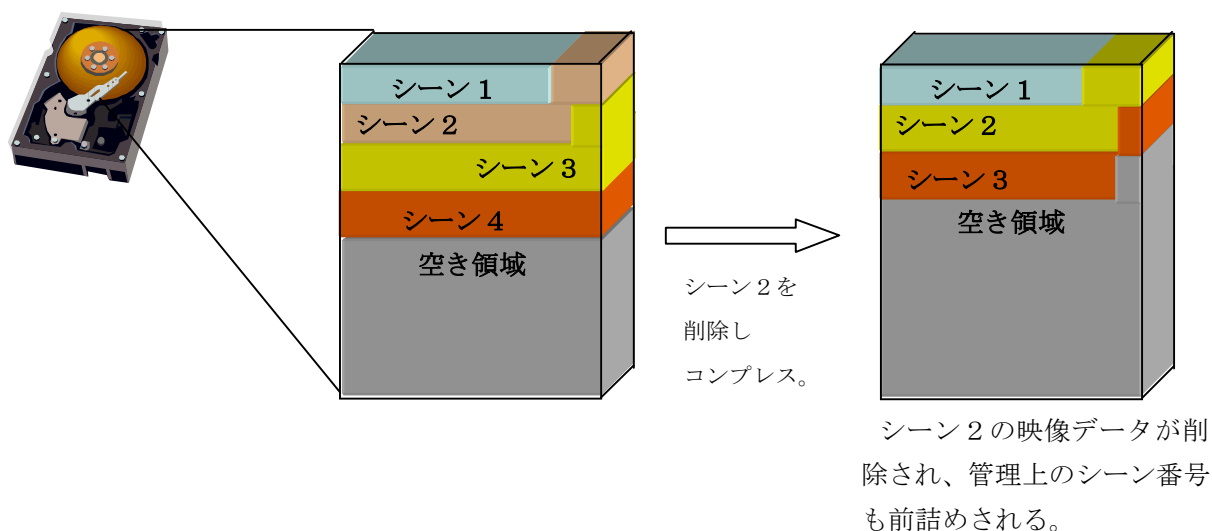
VDRHには、1024シーンまで収録できます。ディスク容量に空きがあった場合でも、シーン数が1024を超えては収録できません。

### 2) コンプレスについて

コンプレスとは、シーン単位で収録素材を削除し、その領域を新たな収録用の空き領域にするための操作です。

VDRHで収録を行なった場合、シーンの「管理データ」と「映像データ(付加情報含む)」とをそれぞれ別の領域に保存していきますが、その際映像データは、映像データ用の領域の先頭から前詰めで記録していきます。

その中から不要になったシーンを削除しコンプレスをかけると、必要なデータだけが前詰めに並ぶように、それ以降の映像データを全て移動させます。



この時、コンプレスの作業時間の目安としては、移動しなければならない“シーン3”と“シーン4”の長さの合計のおおよそ80～90%の時間が掛かります。ですので、シーン4だけをコンプレスする場合は、移動するデータがないため、数秒で終了することになります。

なお、コンプレスは中断できませんので、実行する際は、作業時間に十分ご注意ください。

コンプレスは、本体メニューかアプリケーションから行なうことが出来ます。その方法については、別冊の「VDRH-700/VDRH-700EX 本体操作説明書」もしくは、お使いのアプリケーションのマニュアルをご参照下さい。

## 5. その他の操作

VDRH-700 本体での操作方法や、メニューの呼出方法・設定方法は、「VDRH-700/VDRH-700EX 本体操作説明書」（同梱 CD-ROM）をご覧ください。

## 6. システム事例

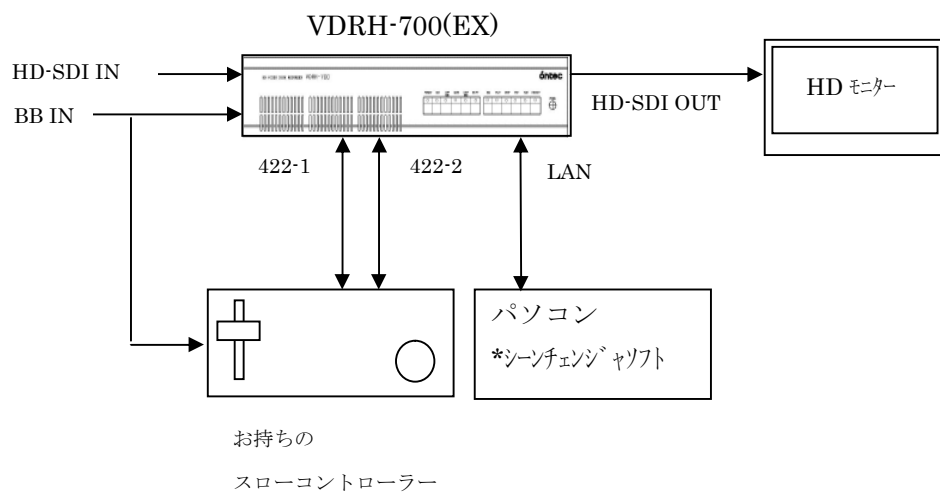
### 1 ) シーンチェンジャーを使用したスポーツスロー再生システム

VDRH-700 シリーズには「シーンチェンジャー」というアプリケーションが、無償でバンドルされます。

シーンチェンジャーでは、VDRH に収録されているシーンの管理や、呼出・再生が簡単に行え、指定 TC への Cue Up や、バリエブル再生・サーチなどの操作も行えます。

また、GUI を使用して、本体メニューの設定を行なうことも出来ます。

VDRH 本体と PC を、LAN ケーブル一本で接続するだけで、ご使用いただけます。



お持ちの RS-422 接続のスローコントローラーをつないで頂ければ、呼び出した TC から、スロー再生を行うことが出来ます。

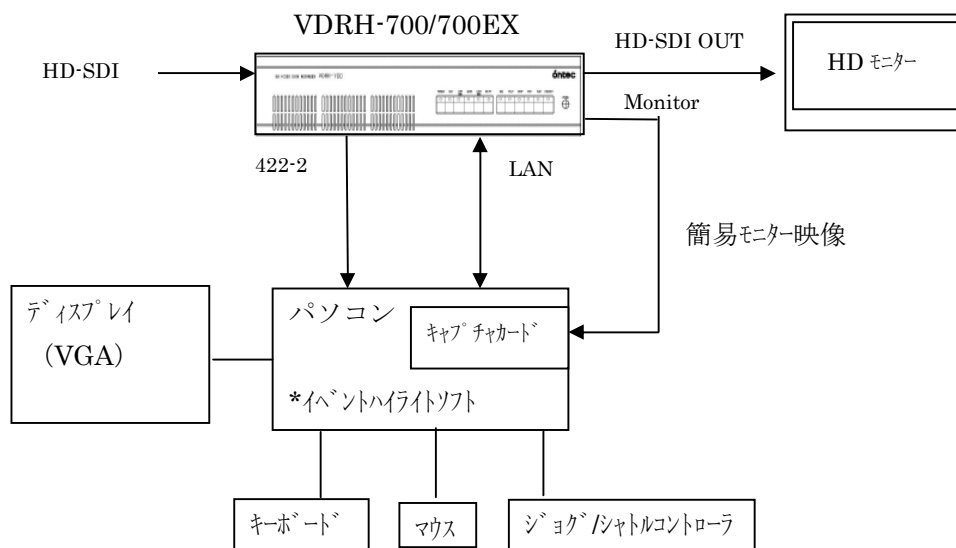


## 2) イベントハイライト送出システム

別売の「イベントハイライト送出ソフト」をご使用頂くと、任意の In/Out 点を持つクリップを作成し、サムネイルと共に管理することが出来ます。

また、それら複数のクリップをプレイリスト再生したり、サムネイルを確認しながらポン出し再生したりすることが出来ます。

### <接続図>



イベント用の映像送出だけでなく、再撮や V 出しにもご使用頂けます。

上記事例の他に、リニア・ノンリニア編集システム、時差送出システム、中継車、お天気カメラ、地震や火山等の定点観測等にご利用頂けます。

詳しくは、弊社 営業技術部までお問い合わせ下さい。

## 7. TC CHASE 機能について

### 1 ) 概要

TC CHASE(タイムコードチェース)は、RS-422 や Ethernet 等の外部コマンドを利用するのではなく、他の機器から受信したタイムコードソースに追従して、記録されている映像素材を再生する同期再生機能です。

### 2 ) GRADE と動作 MODE による機能の違い

TC CHASE OPTION では、現在 2 つの GRADE を用意しております。各 GRADE により選択可能なモードと、各モードで使用出来る機能の違いについて下表に示します。

[GRADE による使用可能モード]

MODE	GRADE 1	GRADE 2	機 能 詳 細
STAND ALONE MODE	○	○	一般の TC を受信することのできる TC CHASE の子機となるモード
SLAVE MODE	○	○	SMPTE12-1999 の BINARY GROUP を使用したオリジナルコマンドを重畳した TC を受信することができる TC CHASE の子機となるモード
MASTER MODE	○	×	SMPTE12-1999 の BINARY GROUP を使用したオリジナルコマンドを重畳した TC を送信することができる TC CHASE の親機になるモード

[各モードによる利用可能な付加機能]

機 能 名	MASTER/SLAVE MODE	STAND ALONE MODE	機 能 詳 細
REC CHASE	○	×	親機の録画開始/停止に連動して、録画の開始/停止が出来ます。
PB CHASE	○	×	親機の再生開始/停止に連動して、TC チェイスの開始/停止が出来ます。
CHASE on REC	○	×	録画中にも TC チェイスが出来ます。
OFFSET	FREE (2010 年 2 月現在・開発中)	±15FRAME	チェイス再生時にオフセットをかけることが出来ます。
DELAYLESS CHASE	○	×	+0～63/32 までのスロー時に 0 Field Delay で完全追従します。
SMOOTH SLOW SMOOTH SEARCH	○	×	親機の SLOW/SEARCH 時にもスムーズな追従をします。
CHASE OVER SCENE	○	×	シーンを跨いでチェイスできます。

### 3 ) その他の注意事項

その他の TC CHASE 機能の仕様や制限、注意事項などは、別冊の「VDRH Series タイムコードチェイス 仕様書」をご参照下さい。

## 8. 定格

分類	項目	仕様	
		VDRH-700	VDRH-700EX
記録デバイス	ハードディスク	s-ATA, 3台 (250GB)	s-ATA, 3台 (750GB)
	構成	RAID 5	
	交換	故障時に交換可 (交換後に自動修復)	
	記録時間	6時間	18時間
記録ビデオ信号	解像度	1080/59.94i	
	圧縮フォーマット	JPEG2000	
記録オーディオ信号	サンプリング	48kHz	
	ビット数	24ビット	
	チャンネル数	8チャンネル	
ビデオ入力信号	コネクタ	HD-SDI BNC	
	対応規格	SMPTE292M 準拠	
	オーディオ	埋め込み SMPTE 299M 準拠	
	モニター出力	アクティブスルー出力 (BNC)	
	系統数	1	
同期 REF 入力	コネクタ	BNC 75Ω	
	信号	アナログコンポジット ブラックバースト同期	
	出力	ループスルー出力 (BNC)	
ビデオ出力信号 (送出用)	コネクタ	HD-SDI BNC	
	対応規格	SMPTE292M 準拠	
	オーディオ	埋め込み SMPTE 299M 準拠	
	系統数	1	
ビデオ出力信号 (モニター用)	コネクタ	HD-SDI BNC	
	対応規格	SMPTE292M 準拠	
	オーディオ	埋め込み SMPTE 299M 準拠	
	系統数	1	
簡易モニター出力	コネクタ	RCA ピン ×3	
	映像/オーディオ	コンポジット映像/オーディオ L・R	
	系統数	1	
タイムコード入力	コネクタ	BNC	
	信号	2Vp-p SMPTE 012M 準拠、LTC	
	系統数	1	
タイムコード出力	コネクタ	BNC	
	信号	2Vp-p SMPTE 012M 準拠、LTC	
	系統数	1	
イーサネット	コネクタ	イーサネット (RJ-45) 1Gbit/sec	
	通信速度	最高 1Gbit/sec	
	系統数	1	
	接続形式	制御・ステータス取得 (HTTP)	

分類	項目	仕様	
		VDRH-700	VDRH-700EX
リモート入力	コネクタ	D-sub 9ピン	
	信号	RS-422A	
	コマンド	ソニー標準/VDCP 準拠、切替	
	系統数	2	
特殊機能	操作ログ	操作の記録と閲覧ができる	
	アラームログ	アラームの記録と閲覧ができる	
電源	電圧	100V±10%	
	周波数	50／60Hz	
	消費電力（本体）	90W以下	100W以下
	2重化電源	非採用 （1電源）	採用 （ホットスワップ非対応）
外形寸法	本体寸法	W430 x H88 x D425（*1）	
	対応ラック	19インチ 2U	
重量	本体	15Kg以下	
動作環境	温度	5℃から40℃	
	湿度	10%から80%	
*1 取手やコネクタなどの突起部は除く。			

この仕様は告知なく変更される場合があります。予め御了承ください。



## 9. 索引

<b>4</b>		<b>M</b>		<b>え</b>	
422	12	MARK	9	エラーメッセージ	10
<b>B</b>		MASTER	19	<b>こ</b>	
BB	11	Monitor Out	11	コンプレス	16
BINARY GROUP	19	<b>R</b>		<b>さ</b>	
<b>E</b>		RAID	13, 14	再生	8
EE	9	RAID5	6, 13	<b>し</b>	
<b>F</b>		RS-422	12, 17	シーン	16
Fail ランプ	14	<b>S</b>		シーンチェンジャー	17
FORMAT	10	SLAVE	19	収録	9
<b>H</b>		STAND ALONE	19	<b>せ</b>	
HDD	14	STOP	8	設定初期化	8
HD-SDI	11	<b>T</b>		<b>た</b>	
<b>I</b>		TC CHASE	19	タイムコードチェイス	19
INHIBIT	7	TIME CODE	12	<b>は</b>	
INHIBIT 解除	7	<b>V</b>		ハードディスク	14
INPUT CHECK	9	VAR	7	パリティデータ	13
<b>L</b>		<b>い</b>		<b>め</b>	
Last Cue	9	イーサネット	12	メニュー	17
Loop 収録	9	イベントハイライト送出	18		

This image shows a full page of blank white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page, providing a template for writing or drawing. There are no margins, text, or other markings present.

サービスに関するお問い合わせは

## 株式会社 オンテック

ビデオコミュニケーションビジネスユニット

ビデオシステム事業ユニット 開発技術部

TEL : 03-5759-0557

FAX : 03-5434-0517

〒141-0031 東京都品川区西五反田3丁目13番2号 光洋ビル 4F

※本書に記載されている内容を実行したことにより発生したいかなる損害に対しても、弊社は責を負いかねます。

何らかの不都合により、正常に録画・再生ができなかった場合の補償、録画・編集した内容（データ）の消失、及び直接間接の損害に対して、弊社は一切の責任を負いません。予めご了承下さい。

※本書の内容は改定のため予告なく変更されることがありますので予めご了承下さい。